



		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84%	16%	0%	人数の関係で帰宅が遅くなる時は少々体調が心配になります。
	2	職員の配置数や専門性は適切か	87%	13%	0%	美術の教員免許を持ち長年教壇に立っていた先生や芸術大学の先生方で構成され曜日ごと魅力的。看護師もいて安心です。
	3	事業所の設備等は手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	85%	15%	0%	送迎時の乗降には注意をしてくださっています。デイでの階段もお願いします。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	98%	2%	0%	学校に登校できなくなった時期にも相談に乗って下さりありがとうございます
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	93%	7%	0%	工夫のお陰で特に手先が器用になり、発想力が豊かになってきています。
	6	放課後の児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	27%	48%	25%	利用者の兄弟姉妹や、友達など、パンダアカデミーでの親子アートなどで交流できたことがよかった。
保護者への説明等	7	学校の宿題を放課後デイでも取り組んでいるか、また事業所独自の学習プログラムをとり入れているか。	84%	14%	2%	宿題をしてこない日もある。パンダでは宿題無しと言ったが実は鞆に入っている
	8	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	5%	0%	美術の先生方の指導方針など「ねらい」とかを詳しく説明いただいて良かった
	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	87%	13%	0%	その日の様子が写真と制作コメントで連絡帳に即記録され状況がよくわかります
	10	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	85%	15%	0%	サマーキャンプ、みかん狩り 陶芸が楽しかったので来年も親子参加希望します
	11	保護者交流等の開催により保護者同士の連携が支援されているか(イベント等)	80%	14%	6%	私たちが参加できていないので次回は参加したい。
	12	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	65%	35%	0%	トイレがうまくできるよう常に支援、対応にご配慮頂きありがとうございます。
	13	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	8%	0%	子どもがパニックやイライラしてしまっても適切に対処してくださっています。
非常時等の対応	14	定期的に通信やホームページ等で活動概要や行事、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	87%	12%	1%	HP やFB、パンフレットや作品展の案内など詳しくわかりました。家族でのイベントもあり感謝しています。
	15	個人情報に十分注意しているか	96%	4%	0%	契約時に確認しています。
	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し保護者に周知・説明されているか	78%	20%	2%	デイは送迎付きですが、一応防犯訓練の実施もできればご検討ください。
	17	非常災害の発生に備え定期的に避難救出その他必要な訓練が行われているか	75%	23%	2%	子どもから避難訓練があったと聞きました。

パンダアカデミーきょうと御所南校 独自項目

お子さまの美術活動を通しての教室での過ごし方や、ご帰宅後のご家庭における変化のあらわれ

利用後の子どもの変化	18	美術制作を通して子どもの成長が感じられるか	95%	5%	0%	家でもいろいろと作って見せてくれるようになりました。
	19	言葉づかいに変化はみられるか	54%	35%	11%	年上の人へのあいさつや敬語ができるようになればありがたいです。したりしなかったりなので。
	20	家での手伝いはすすんでいますか	49%	40%	11%	積極的に手伝いをしてくれるようになりました。弟の面倒もよく見てくれます。絵を教えたりしています。
	21	学校での意欲につながっているか	43%	35%	22%	家での過ごし方のほうを改善していかなければいけない。
	22	美術への興味、関心は深まっているか	92%	8%	0%	学校の美術課題にも積極的になり、家でも作品の会話が増えました。
	23	美術を通じた家族の会話は増えたか	90%	8%	2%	覚えてきた技法のことや完成作品についての解説など嬉しそうに語ってくれます
	24	美術をきっかけにして他の分野への意欲も高まってきたか	70%	25%	5%	学校を休まなくなり、部活や生徒会にも入りガラリと変わってきました。
満足度	25	子どもは通所を楽しみにしているか	90%	8%	2%	御所南校の先輩（中学生や高校生）のみんが優しいと喜んで行っています。
	26	事業所の支援に満足しているか	92%	8%	0%	利用に関して勤務や突然の家庭事情にも速やかに対処していただき有難いです。

2019年2月～3月実施 利用者22名配布 18名回答



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	◎	○	○	療育の段階に応じたアートプログラムを行うため本校と御所南校にて作品制作を行います。
	2	職員の配置数は適切であるか	◎	○	○	看護師、教員など専門力を有した職員なので一層充実したサービスをご提供いたします
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	◎		○	手すりやバリアフリーを活かした安全活動にも配慮しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	◎	○	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	◎			
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	◎	○	評価者選出を再検討し定期的な実施に向けて調整してまいる所存です。
	8	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	◎	○	○	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	◎	○	
	11	活動プログラム立案をチームで行っているか	◎		○	ご家庭のニーズにお応えしていくことができるよう日々プログラムの充実を図っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎	○	○	アートプログラムは曜日別に工夫した時間割を組んでいます

	13	平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	◎	○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎	○		
	15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎	○	○	日常のミーティングを始め会議等での議事録活用と職員間の共有、個別対応や集団指導の役割分担などを行っております
	16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	◎	○		美術に特化した日常の療育をわかりやすくご家庭にお伝えするべく連絡帳に毎日の制作を画像でお届けしています。 また、支援終了後には職員間での振り返りはもちろん、気になるお子さまのご家庭との電話相談や必要に応じ家庭訪問、保護者面談などを行うなど家庭との連携を大切にしております、またこれらの対応は常勤非常勤問わず職員間でも共有し周知を図っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎	○		美術特化の事業所としてひとり一人の制作履歴と療育の視点や、作品づくりから見られる発育や発達の進捗状況等の個別記録、デイ利用後の個別活動記録のまとめ、振り返りや検証、その後の改善（PDCA等）それぞれの記録が連動するよう努めてまいります。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	◎			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	◎			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	◎		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	◎			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	◎			担当主治医：小石医院

	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めているか		◎	○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		◎	○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	◎		○	児童発達支援センターとは適宜連携しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		◎	○	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		◎	○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	◎			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		◎	○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	◎		○	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	◎		○	
	32	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	◎		○	パンダアカデミーイベントでの保護者交流実績あり

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	◎			
	34	定期的に通信や会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	◎		
	35	個人情報に十分注意しているか	◎			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	◎		○	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			◎	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	◎			中京警察、消防との連携
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	◎			2017, 2018 年実施済

40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	◎			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	◎			
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	◎			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎	○	○	

◎～評価が多かった項目 ○～評価のあった項目 ※ 回答職員5名

(2019年2月～3月実施)